

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和7年度第1回佐渡市地域公共交通活性化協議会
開催日時	令和7年5月22日(木) 10時00分開会 10時45分閉会
場所	あいぽーと佐渡 多目的ホール
議題	<p>(1)議題 令和6年度事業報告及び収支決算について ⇒資料1をもとに事務局から説明。全会一致で承認</p> <p>(2)報告事項 ①島内交通全体を見据えた再構築事業について ⇒資料2をもとに事務局から報告 ②新潟交通佐渡(株)の路線バス等の運賃値上げに関する 市民説明会及びパブリックコメントの実施について ⇒資料3をもとに新潟交通佐渡(株)から説明</p> <p>(3)その他 特に無し</p>
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	公開
出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 佐渡市副市長 鬼澤 佳弘 ・ 佐渡市企画部長 北見 太志 ・ 新潟交通佐渡株式会社 代表取締役社長 村山 優樹 ・ 佐渡地区ハイヤー協会 事務局長 富井 拓郎 ・ 佐渡汽船株式会社 グループ企画業務部担当部長 本間 裕幸 ・ 新潟交通労働組合佐渡部会 執行委員長 金子 秀道 ・ 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部 WEB代理：主査 柏 寿人 ・ 国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局 首席運輸企画専門官 嶋 毅彦 ・ 新潟県交通政策局交通政策課長 代理：政策企画員 深川 修司 ・ 新潟県佐渡地域振興局 代理：計画専門員(総括) 東海林 寛雄 ・ 新潟県佐渡警察署 代理：交通課長 田邊賢志 ・ 佐渡市民生委員児童委員協議会 理事 笹本 芳廣 ・ 社会福祉法人佐渡市社会福祉協議会 常務理事 塚本 寿一 ・ 佐渡市女性団体連絡協議会 会長 本間 由香 ・ 長岡技術科学大学大学院 教授 佐野 可寸志 (WEB)
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	1名

備考	報道機関 2社
----	---------

会議の概要（発言の要旨）	
発言者	議題・発言・結果等
A委員	(1)議題 令和6年度事業報告及び収支決算について ⇒質疑等について、特になし。
事務局	(2)報告事項 ①島内交通全体を見据えた再構築事業について 現在ある佐渡市地域公共交通計画をもとに島内交通の再編を行っていくということによいか。 佐渡市地域公共交通計画は昨年度策定した。その中で5年後、10年後に見据えた路線バスの編成が書いてある。5年後、10年後には今まで運行していたところが、減便もしくは廃止にして代替交通を運行する計画になっている。そのアクションプランの形で今回再編計画を出すということでより現実的な行動計画を作ること。
A委員	②新潟交通佐渡(株)の路線バス等の運賃値上げに関する市民説明会及びパブリックコメントの実施について 説明会もなさるとのことなので、高齢者も含めて、市民の方には十分に丁寧に説明するようお願いする。
B委員	料金の値上げによって、路線バスの本数は維持できるという計画なのか。
新潟交通佐渡	運行本数については、先ほどの報告であった、島内交通の再構築事業、佐渡市の地域公共交通計画5年後、10年後に示されているので、密接に関係してくる。5年後、10年後と現在が同じ本数かという問いに対しては残念ながらわからない、というところ。将来の絵姿においては、例えば、10年後においては島内の人口減少等もあるので、極端に言うと、幹線の3路線以外はすべて今とは違う形にしていかなざるを得ないという風な絵姿になっている。今と同じ本数が5年後、10年後も維持されるかというのは厳しいかと思う。 ただ、これは増収という意味からすると、両津から金井、佐和田を通過して相川に行く島内のメイン路線の本線につきましては、観光客が大勢ご利用になるので、そちらの路線については逆に本数、ダイヤを増やすということで利便性向上による増収も検討の余地に入

B 委員 会長	ってくるのではと考えている。 佐渡市内の交通の環境と円滑を図る上で、一つとして飲酒運転の防止という観点から最終便は今の時間帯で残していただきたい。また、無免許運転の防止という観点からすると、利便性向上を考慮していただきたい。
C 委員	学生ワイドフリーの値上げはあるが、一般の定期券、回数券はどうなるか。
新潟交通佐渡	そちらに関しては通常の運賃に対しての定期券になるので、改定させていただく形になる。
	以上、閉会